

対象者

※右記のすべてに該当する方が対象

- ◆ 40歳以上の方 ◆ 職場等で検診を受ける機会のない方
- ◆ 下記の「検診が受けられない方」に該当しない方
- ◆ 下記の「主治医の許可が必要な方」で主治医の許可が得られている方

検診の内容

- ① 問診
- ② 胃部X線検査(バリウム)または【個別のみ】胃内視鏡検査※

※過去にバリウム検査でアレルギー症状(発疹かゆみ・息苦しき)を起こしたことがある方は個別検診で内視鏡による検査をお勧めします。(医療機関に早めご予約ください)

検診が受けられない方

下記 1~15 に該当する方は検診を受けられません。(参考文献:胃 X 線検診安全基準)
当日の医師の判断や、飲食時にむせやすい方は検診が受けられない場合があります。

1. 現在、食道・胃・十二指腸の病気で治療中又は経過観察中の方
2. 妊娠中・妊娠の可能性のある方
3. 透析中の方
4. 脳圧亢進でシャント中の方
5. 脳卒中(脳梗塞・脳出血)などの発作が1年以内にあった方
6. 虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)で1年以内に発作があった方
7. 心不全または腎疾患で水分制限のある方
8. 食道・胃・腸・心臓・肺・頭部・他腹部等の手術を受けて1年経過していない方
9. 椎体・靭帯などの治療中や、1年以内に手術を受け、検査台で体を動かすことが難しい方
10. 【バリウム検査のみ】自力で立って体を支えられない方
11. 【バリウム検査のみ】当日まで3日間排便のない方
12. 当日の血圧が180/110mmHg以上ある方(いずれか一方でも)
13. 当日、量に関係なく食事・喫煙された方・水、白湯以外の飲物を飲んできた方
14. 当日、血糖を下げる薬を飲んだり、注射してきた方
15. レントゲン技師の指示に従い体を動かさない方

主治医の許可が必要な方

下記 1~5 の方は必ず予約前に主治医の許可をとった上で、検診を受診してください。
(参考文献:胃 X 線検診安全基準、日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会)

1. 腸閉塞(腸ねん転)の既往のある方
2. 1年以上前に食道・胃・腸の手術を受けた方
3. 心筋梗塞・狭心症・脳卒中の既往及び現在治療中の方
4. 【バリウム検査のみ】ペースメーカーを入れている方 ※X線による誤作動の可能性があるため
5. インスリンポンプ・持続グルコース測定器を使用中の方
(検診日に機器を自宅で取り外し、検診を受けることが可能か、事前に主治医にご確認下さい)

集団検診での注意事項

個別検診を受診される場合には、検査前の準備等は医療機関の指示に従ってください。

- 食 事** ◆ 食事は、前日午後8時までに済ませ、それ以降は食事をしないでください。
※タバコ・ガム・アルコールも不可です。
※食後すぐ就寝すると、翌朝まで胃の中に食物が残り、正しく検査できないことがあります。
※量に関係なく食事が確認されたら検査は受けられません。
- 水分摂取** ◆ 寝る前(午前0時)まで、水または白湯は摂取してもかまいません。
◆ 水または白湯は、検査2時間前までに200ml(コップ1杯)程度は摂取してもかまいません。
- 内服薬** ◆ 高血圧症、心臓病、てんかん発作のある方は、検査開始2時間前までに200ml(コップ1杯)程度の水または白湯で内服薬をお飲みください。
◆ 糖尿病で治療中の方は、内服薬や注射等について、主治医にご相談の上、受診してください。
◆ 検診当日の薬の服用については、必ず主治医にご相談の上、受診してください。
- 服 装** ◆ ボタン、ファスナー、ホックなどの金属性のものがついていないズボン・スカート・下着類を着用してください。
◆ 湿布や貼り薬はレントゲンに写りますので、外してください。
◆ 腹巻やガードルはへそ下10cm位まで下げて受けてください。

健診結果

- 個別検診** ◆ 医療機関から返却します。返却日や返却方法は受診の際にご確認ください。
- 集団検診** ◆ 受診後、1か月半程度で結果をご自宅に郵送します。